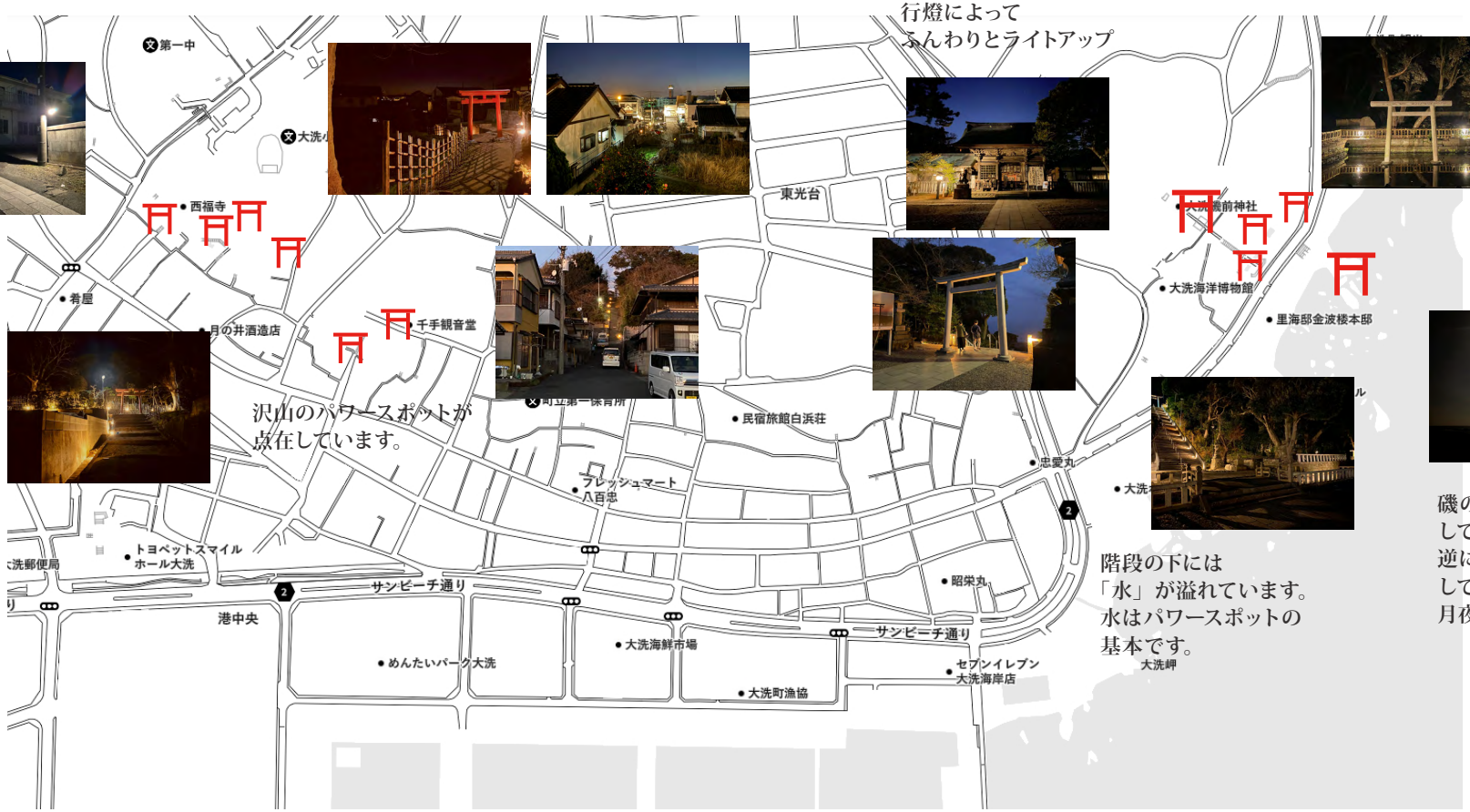
大洗まちあかり散策マップ

「おおあらいを散策したくなる」

宮下地区から曲がり松商店街周辺までまちあかりを点在させています。
大洗らしい、あかりをお楽しみください。

あれ？
発見するあかり

大洗の パワースポットライトアップ



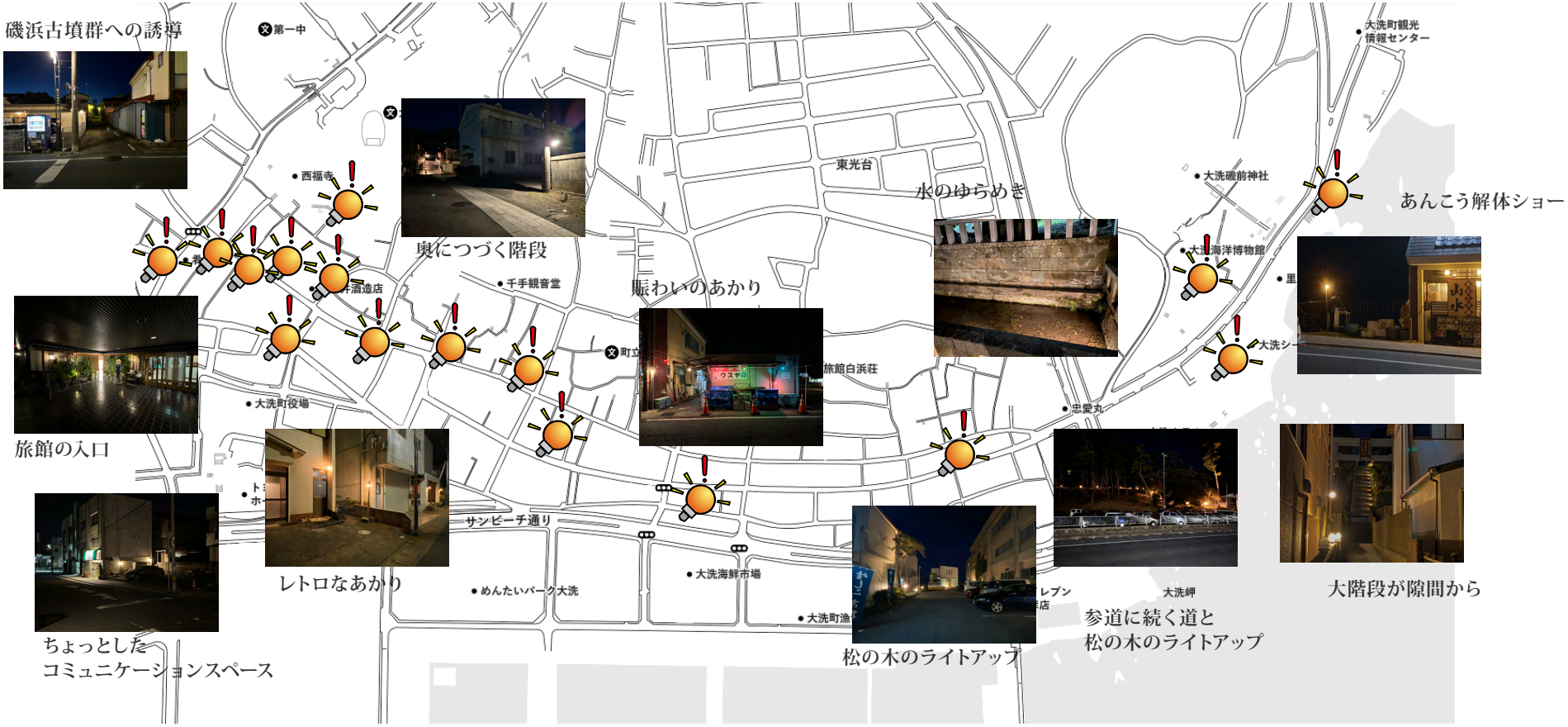
階段の下には
「水」が溢れています。
水はパワースポットの
基本です。

磯の鳥居はライトアップ
していません。
逆に人口光が当たらないように
しています。
月夜の迫力を存分に。

夜のパワースポットは一段と感じます。
ここに夜登ると、大洗の様々な海の表情を見れます。

あれ？
発見するあかり

大洗の人を感じるあかり



人やお店やまちを感じるあかりは
記憶に残ります。

住民参加によるまちあかり

開運大洗プロジェクト・大洗の月（環境整備）に向けてのまちあかり

大洗の安心安全を高めるまちあかり

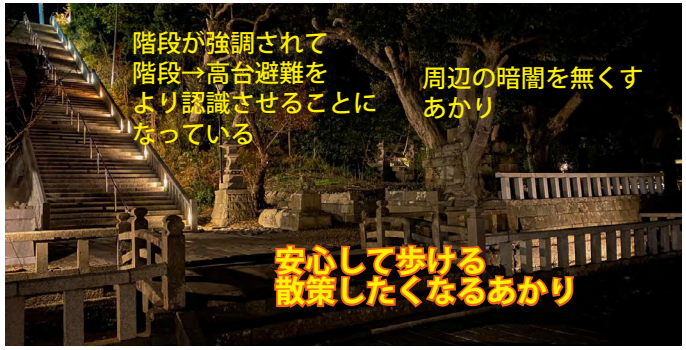
■何を目指すのか？

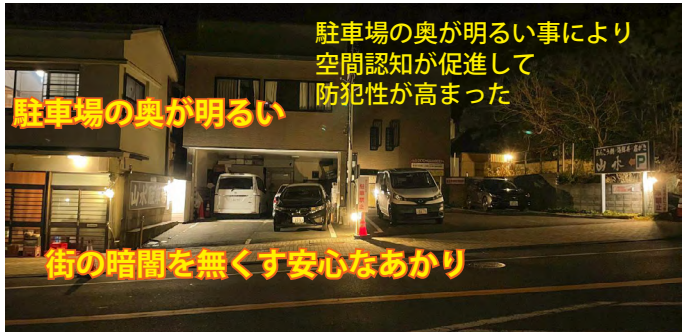
基本方針による海浜保養地の夜間景観形成を念頭に、照明計画趣旨に基づく照明社会実験を通じて店舗や住民と照明位置・照明方法を確定し、夜間景観を整備する。

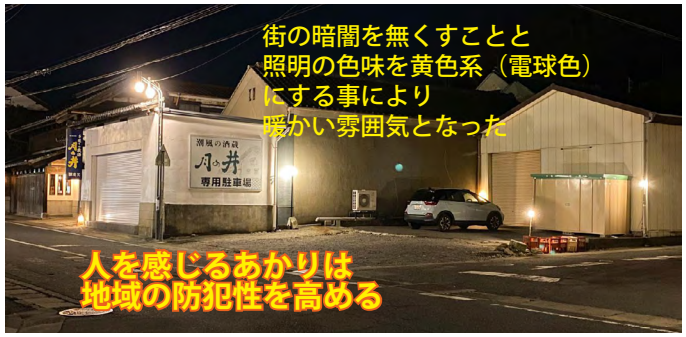
○街の暗闇を無くすあかりをつくる。
- 暗闇を無くすと、空間が把握でき、なおかつ、周りの人の存在を認識できるので安心感を得られます。

○散策したくなるあかりをつくる。
- 空間認知、路地などを認識させます。

○特徴的なあかりの雰囲気をつくる。
- まずは、あかり、光の色を黄色系、電球色に統一することを提案します。落ち着いた雰囲気となることを期待します。
- 照明器具の意匠、デザインはレトロ調を基本とすることにより、統一感が得られます。







「おおあらいが好きになる」

「おおあらいに住みたくなる」

「おおあらいに帰る」

「おおあらいを散策したくなる」

そんな街を目指します！

住民参加によるまちあかり

あかりの方針

●街の暗闇を無くす

駐車場奥など街の暗闇を無くすと、安心感が高まり、犯罪者が隠れる所を無くすことにもなり、犯罪の抑止力にも繋がります。

空間の奥が認識できることにより
安心感が増幅します。

気仙沼駅前商店街の駐車場
奥にあかりを設置。
駐車場の防犯性が上がった。

●行く先々を認識するあかり

街路の空間を認識することになり、今自分がどこにいて、どこに行けるかをストレスなく誘導することになります。同時に散策したくなるまちになります。

●人を感じるあかり

人を感じられると防犯性がより高まります。門灯、玄関灯なども効果があります。

「性能設計」による照明計画

■歩行・走行性能の確立
- 安全に歩行するための光
- 車両が安全に走行するための光
- 交差点で歩行者を認知する光

■防犯性能の確立
- 人の存在を感じる光
- 空間認知の光 - ボイド認識
- 空間認知の光 - 見通し

●大洗のあかり

光源の高さを低くし、光源の色味は黄色系に統一します。また、まぶしい照明は調整します。照明器具デザインはレトロ調とします。

一般的には電球色とし
約 3000K 以下にする
白い光を電球色に変更する

基本的には足元灯を中心にする
光源高さを最大でも 2.5 m以下に統一する

住民参加によるまちあかり

高台避難誘導を促進するあかり

高台への坂道、階段、街並みを夜間も認識させることにより地域全体に安心感が広がる→大洗の風土を生かした夜間景観

安心安全なあかり

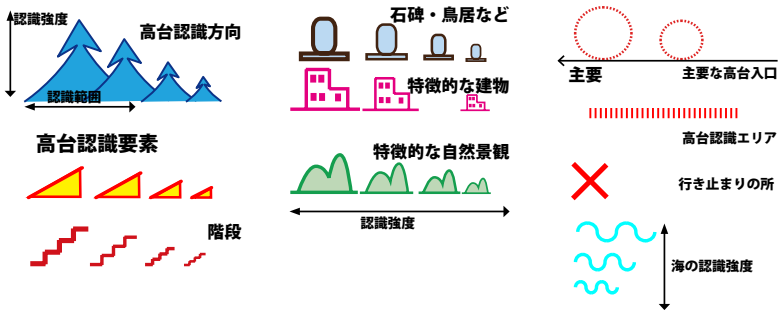
統一したあたたかな光を境界部に配置し、
安全で安心感のあるあかりをつくる。

- 歩行性能
  人が歩行する行為として最低限必要とされる照明
- ボイド照明 / 暗闇を無くす照明
  空間認知として街路の凹部を認識させ、街の暗闇を無くす照明
- 人気のあかり
  まちに人気を感じるまちは安心感が増幅し、防犯抑止につながる。
- 危険予測照明
  交差点の危険予測から導き出された照明

避難誘導を誘導するあかり

視線の抜けや街並みの光で、
空間認知を促進し、
避難誘導とまちなかへ誘導できる
あかりをつくる。

- 誘導照明
  避難誘導などを含む行く先々を示す照明



高台避難誘導空間要素

いざという時に記憶に残っている高台への目印は地域全体の安心感につながった